

# 松 風

松林中学校学校便り  
令和7年2月3日  
校長 羽場 由佳子

立春を迎え、桜の木には蕾が付き始め、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。しかし、寒さはこれからが本番です。そのような中、登校時の生徒の様子を見ていますと、コートも制服の上衣も着ない、ワイシャツだけの生徒を見かけます。「寒くないの?」と声をかけると「大丈夫です」「教室は暖かいから」という返事に、「子どもは風の子」という言葉を思い出しました。とは言っても、寒さの感じかたは人それぞれです。自分に合った服装で体調管理をし、残り少なくなった今年度を元気に過ごして欲しいと思います。



松林中では、今のところインフルエンザ等の感染症で欠席する生徒は多くありません。このまま過ごせればと願っています。これから3年生は高校入試本番、1、2年生は学年末テストが控えています。ご家庭でのお子さまの体調管理を、引き続きよろしくお願いたします。

また、1月に行いました「授業参観・懇談会(1、2年生対象)」へのご参加、ありがとうございました。どちらの学年も、進路についてと次年度の宿泊行事(2年生:野外教室、3年生:修学旅行)についての説明をいたしました。進路についても、宿泊行事についても、早めのご準備をお願いいたします。

## 校内書き初め展



今年も書き初めが各クラスの廊下に展示されました。1年生は「不言実行」、2年生は「新たな目標」、3年生は「無限の可能性」です。学年が上がるごとに文字数や画数が増え、バランスをとるのが難しくなっていますが、どの作品からも一生懸命に取り組んだ様子が伝わってきます。学年での展示後、金賞作品は校長室前に掲示されます。

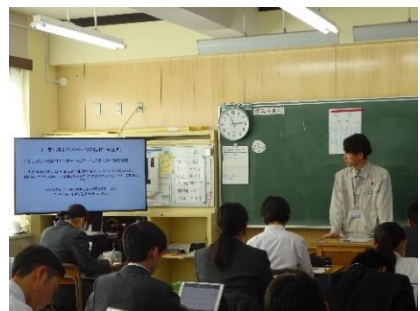
## 3年生のみなさん、応援しています



昨年の12月から1月にかけて、一部の3年生に高校入試に向けた面接練習を校長室で行いました。高校の志望理由や取り組みたいこと、中学校での勉強や部活、行事で頑張ったこと等を聞きました。事前に3年生の先生方としっかり練習を重ねてきたこともあり、緊張しながらも普段は使わないであろう丁寧な言葉遣いで、どの3年生も立派に質問に答えていました。

2月は高校入試本番です。面接のある人も、試験だけの人も、受験当日は緊張すると思います。そのような時には、「成功の鍵は適度な緊張感」という言葉を思い出してください。松林中の先生達、後輩達、みんなが応援しています。

## 「茅ヶ崎市長になろうプロジェクト」



1年生の総合的な学習の時間では「茅ヶ崎を知る」をテーマに学習に取り組んでいます。昨年11月には、環境美化財団の方による講演会を開き、茅ヶ崎海岸の環境汚染について事前学習を行い、後日、茅ヶ崎海岸清掃を行いました。そして1月には、「茅ヶ崎市長になろうプロジェクト」と題して、茅ヶ崎市役所の各課の方に出前講座をしていただきました。「高齢福祉課」「障がい福祉課・学校教育指導課」「環境政策6課・資源循環課」「産業観光課」「こども政策課」「スポーツ推進課」による6つの講座です。生徒は自分が希望する2つの講座を受け、クラスに持ち帰り班で報告をしました。

各講座では、写真やデータを提示しながら分かりやすく茅ヶ崎市の取組みについて説明をしてくださいました。生徒たちは今まで知らなかった行政の取組や、茅ヶ崎の魅力について、考えるきっかけを得ることができました。今後、未来の茅ヶ崎市長を目指して、マニフェストを考えていきます。

ご協力くださった各課の皆さま、ありがとうございました。

## スマホに変わる文化的な提案

毎年、新入生保護者説明会では「スマホ・携帯の使い方について」という講演を、講師の方をお招きして行っています。今年の講演の中で、「スマホに変わる文化的な提案」という言葉が特に印象に残りました。これは、保護者がスマホや携帯の使用について「ダメ」ばかりを言っていると、子どもは使うことを「悪いこと」と感じ、親に隠れて使うようになるというものでした。そこで、「だめ」と言うのではなく、「スマホに変わる文化的な提案をすることが親の役目」という考え方が紹介されました。

文化的提案として、「読書」「音楽」「料理」「創作」「スポーツ」「自然散策」などが挙げられます。また、これらを子どもだけに勧めるだけではなく、「親も一緒にすることも大切」と、アドバイスを下さいました。スマホや携帯の使用については、ご家庭ごとに様々な考え方があると思いますが、お子さまが安心して成長できる環境を作るために、今回の講演の内容が少しでも参考にできれば幸いです。



### 転居予定をお知らせください

来年度のクラス数を決定するために、転居のご予定がある場合には、早めに学校へお知らせいただけますようお願い申し上げます。

皆さまのご協力が、よりよい教育環境を整えるための助けとなります。

どうぞよろしくお願いいたします。